

## 《東林教育リーグ 趣旨》

根本旧リーグ会長提唱

1. 1985年発足、これからは子供達の人数が減るために
  - イ 楽しい野球をしなければ子供が集まらない。
  - ロ 練習より試合がやりたい。
  - ハ 五年生以下全員出場する。
  
2. 笑顔で試合を観戦しようではありませんか。失敗した時の子供の顔を見て下さい。子供が一番辛いのです。そこへ追打ちをかけるようでは少年野球ではありません。相手は小学生です。監督、コーチ、父兄の皆様、あたたかい目で見ようではありませんか。打てない、捕れない、投げられない、あたりまえです。打てた時、捕れた時、投げられた時に自チーム、相手チーム、ナイスプレーと誉めてあげましょう。できなかつた時はドンマイ、ドンマイ。打てる球がストライクです。フォアボールねらいの野球をしてるのではありません。打って、走って、投げて、アウト、セーフこれが野球です。私達は投手も育てようと、投球数を制限したり打てそうなところはストライクをとります。一球ストライクをとってあげたためどんどんストライクをとれる選手もいます。ボール、ボールでは投手も投げるところがなくなってしまう。又、指示者は一人だけです。走れ走れ、止まれ止まれ、打て、打つな、これでは子供がまよいます。他の方は絶対に指示しないで下さい。
  
3. 当大会も最初から全チーム出場していたわけではありません。東少連とは別の大会ですから当大会に出場しなくても東少連には出られます主旨の違うチームもあると思います。よく考えて出場して下さい。
  
4. 私達は初心を忘れずに子供達が打てた時、捕れた時の笑顔を励みに頑張っていきたいと思えます。各チームの関係者、御父母の皆様にも是非読んでいただき御協力、御理解いただきたいと思えます。

## 《東林教育リーグ 規程》

1. 出場選手は、5年生以下とする。（女性選手は6年生迄）
2. 全試合5回戦とし55分以降新しい回に入らない。
3. コールドは無し。
4. 遠藤杯・吉武杯・根本杯で勝敗が決まらない場合は、プレーオフを行います。  
※攻撃側はツーアウト満塁で走者は前の回の打者とする。  
※打者は前の回の続きから打ちます。（選手の交替はできません）
5. シートノックは無し。
6. 投手の一日投球数は全学年70球とする。
7. 本 塁→投手板（5年16m・4年以下15m）  
塁 間→23m  
本塁打→ホームベースからセンターへ50m取りピッチャープレートを軸としホームランラインを引く、但しゴロはフリーとする。
8. 打者はDHを付けられ10人で攻撃できる。
9. リーグ戦の場合攻撃チームが打者一巡し攻撃終了しない場合、塁上の走者を全て本塁に返し攻守交替する。
10. 打者はヘルメット、捕手はマスク、プロテクター、レガース等着用の事。
11. ウエーティングサークル内の素振りは禁止。
12. 試合開始30分前に集合し20分前にメンバー表提出。
13. 背番号を付ける。
14. ベンチは原則としては後攻を1塁側とする。
15. 指示者は攻撃中3塁のランナーコーチをする。  
※子供と同じユニフォーム着用。
16. グラウンドでは指示場所以外の喫煙を禁止します。
17. 打者は打った後や空振りした時バットを投げない。  
※初めての選手は必ずバットを投げないよう指導してから出場させる。
18. ベンチ内は指示者（腕章着用者）とスコアラー（スコアが書ける人）1名  
その他、世話役の女性1名を入れます。
19. 相手を誹謗したりするヤジ又は自チームに対しても「何やってるんだ」、「バカヤロー」等の暴言をはいたチームは退場となります。